

未来の有権者としての第一歩 3年生が模擬選挙を体験しました



寒さの中にも冬の日差しが暖かく感じられる12月10日（水）、3年生の生徒たちが「主権者教育」の一環として模擬選挙に挑みました。

葛城市長がサプライズで駆けつけてくださり、これからの葛城市、そして日本を担う生徒たちへ向けて、選挙に行くことの大切さと期待の言葉をいただきました。その後、選挙管理委員会の方々のご指導のもと、いよいよ投票体験です。

本物の記載台で候補者名を書き、本物の投票箱に票を投じる瞬間、生徒たちの表情は真剣そのものでした。「紙は破れにくいと聞いたが、カー杯破ってしまった」「箱に入れるときドキドキした」など、実際に触れてみて初めてわかる発見がたくさんあったようです。

教科書で学ぶだけでなく、実際に体験することで、数年後に有権者となる自覚が芽生えた1日となりました。ご協力いただきました葛城市長様、選挙管理委員会の皆様、貴重な体験をありがとうございました。

